

ネットワーク

# KITA-NET Network

北海道に広げていこう、環境のネットワーク



## きたネット賛助会員／北海道の環境活動を支援する企業・団体

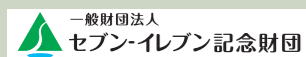
網走市廃棄物処理協同組合 / エムフォトワークス株式会社 / カサシマ建設株式会社 / 五島冷熱株式会社 / 小南印刷株式会社 / 株式会社櫻井千田  
公益財団法人知床自然大学院大学設立財団 / 親切会北海道支部 / 株式会社地域環境計画北海道支社 / DCMホームマック株式会社  
パタゴニア札幌北・パタゴニアアウトレット札幌南 / 株式会社プリプレス・センター / 株式会社古山商店 / 北海道自動車処理協同組合  
一般財団法人前田一歩園財団 / 雪印種苗株式会社

## 2015年度のきたネットの活動にご寄付・ご協賛をいただいた企業・団体のみなさまです。ありがとうございました。

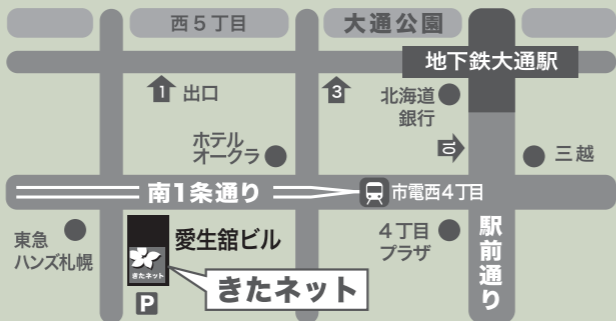
DCMホームマック株式会社 / マイクライメイトジャパン株式会社 / KDDI株式会社 / 公益財団法人日本賃貸住宅管理協会北海道ブロック  
公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会北海道支部 / 全国賃貸管理ビジネス協会北海道支部 / 株式会社北翔 / 北日本測地株式会社  
一般社団法人札幌空調衛生工事業協会 / 株式会社櫻井千田 / 株式会社ドーコン / 山本建設株式会社 / 石上車輛株式会社 / 有限会社道環  
株式会社網走衛生センター / 川正染工株式会社 / 礼建工業株式会社 / 北海道中央バスグループ / 三井住友海上火災保険株式会社  
株式会社リロケーションサービス / 株式会社江上 / 株式会社オール / 株式会社ファズ / 株式会社セクト / 有限会社ドルフ  
株式会社宅建 / 伊丹車輛株式会社北広島支店 / 丸利伊丹車輛株式会社 / 親切会北海道支部 / 草野美美子 / 加納尚明

## 【認定NPO法人 北海道市民環境ネットワーク事務局】

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目8 愛生館ビル5F  
Tel 011-215-0148  
Fax 011-215-0149  
E-mail office@kitanet.org



きたネットは、一般財団法人セブン-イレブン記念財団から助成を受け、市民の環境活動を支援する「市民環境活動支援協定」を結び、北海道の自然環境を子どもたちの未来へ引き継ぐために活動を行っています。



2015年11月現在  
KITA-NET Network  
会員数  
**MEMBER**  
正会員  
60団体・16個人  
賛助会員  
65個人  
16企業・団体

# きたネット

# KITA-NET NEWS 2015/11

## きたネットニュース

きたネットWeb <http://www.kitanet.org/>  
ラフテラス・クリーンアップin北海道 <http://www.love-earth-hokkaido.jp>  
森づくりナビ★北海道 <http://kitanet-mori.com>  
環境情報Blog <http://blog.go.no.jp/kitanet-staff>  
きたネットFacebook <https://www.facebook.com/kitanet.org>

北海道の環境保全活動を推進・支援する  
団体・個人・企業が参加するネットワークです。  
認定NPO法人北海道市民環境ネットワーク  
「きたネット」

メッセージ

# MESSAGE

秋は環境団体のイベントシーズン。きたネットも、白老・札幌での森づくり、市民活動助成セミナーなどの行事がメジロ押しでした。今年は9月にラブアース・クリーンアップin北海道の活動として「インターナショナルごみ拾いビーチウォーク」を初開催。中国、フィリピン、韓国、アメリカ、ロシアなどの国の方というように、石狩浜で約1000kgのごみを拾いました。11月のきたネットフォーラムが終わると冬支度です。



コラム

## COLUMN

きたネットに関わって10数年、顔の見えるネットワークと人と人を結ぶ企画力が「きたネット」の面白さです。

きたネット副理事長  
**枝澤 則行** (ふるさと美幌の自然と語る会)

きたネットの設立後、2期目から役員を引き受けて10年以上。設立間もない頃は、共通認識を作ることに時間を費やしていました。中間支援組織の役割は何か、会員サービスとして何が出来るのか、目指す方向はどこか…。

きたネットは、設立からセブン-イレブン記念財団との協定で事業を進めており、北海道環境活動交流フォーラム(旧・全道交流会)、助成セミナー、全道一斉ごみ拾い活動等を実施しています。全道交流会は、顔と顔の見える関係づくりとして6年間開催しました。活動実績のある会員団体にコーディネートをお願いし、下川、帯広、札幌、美幌、白老、黒松内と全道各地を回り、開催地ごとの特色あるテーマで実施し、きたネットの礎ができました。会員同士のつながりや人材を発掘する機会に役立ちました。顔が見える取り組みは、会員の活動を学べる場として、ネットワークを作る場として重要でした。現在は、きたネットフォーラムを開催し、一般の方も参加しやすいようなテーマで、北海道の自然の豊かさや最新の環境保全情報を学び合う場を提供しています。

スタート時から取り組んだ、全道一斉ごみ拾い活動は、ラブアース・クリーンアップin北海道の名称が親しみやすく、きたネットの知名度を上げることに役立ちました。全道各地で定着した活動となり、参加者は5万人規模になっています。ごみ拾い活動は、自治会や学校、企業の社会貢献活動として広く行わ

れていますので、まだまだ広がり期待できます。また、ラブアースの森づくりは、きたネットらしいところの1つです。ネットワークを活かして札幌ではNPO法人森林遊びサポートセンター、白老ではNPO法人ウヨロ環境トラストと協働して、市民が参加する森づくりを実施しています。

市民活動助成セミナーは、助成する団体と申請する団体の勉強会として開催しています。セミナーでのノウハウを活かして助成金を獲得するなど、会員団体をはじめ、多くの団体に役立っています。近年、助成団体サミットとして、助成団体の意見交換会を始めました。助成金を提供する側と受ける側が相互の信頼関係を持って、活動しやすい助成制度の仕組みを作っていくことが、きたネットの果たす役割だと考えています。

きたネットは、任意団体から始まりNPOを取得し、現在は認定NPOです。ネットワークの幅も広がり、行政や企業、大学と協働する事業も増えました。時代の流れで、きたネットを利用、活用する人の多くは、インターネット上のFacebookやTwitter、動画などで情報を得ることが多くなりました。情報を提供、収集するために有効なツールですが、環境保護・保全・再生・教育・体験・暮らし方等を分野に活動している人たちは、実際に見て、聞いて、体験してみる事が好きな人が多いと思います。多種多様な人材とノウハウを持った人たちが「きたネット」には集まっています。人と人を結ぶ企画力がきたネットの面白さです。

インフォメーション

## INFORMATION

### 2015.11.7 きたネットフォーラム2015 地域の底力でいのちと環境をつなぐ～キーワードはトランジション～

今年は持続可能な地域・暮らしを環境団体の視点から考えます。キーワードは「トランジション」(移行)です。コーディネーターは余市町を拠点にエコビレッジづくりに取組む坂本純科さん。基調講演は、神奈川県相模原市で「トランジション藤野」の活動に関わり、コレクティブハウス「里山長屋」の設計者である山田貴宏さん。人と環境をつなぐプラットフォームとしての住、暮らしについてお話をうかがいます。午後は、北海道各地で、地域づくりに取組む団体の事例から、環境団体の役割、地域との連携のあり方を考え、持続可能な地域づくりを実現する手法をディスカッションします。

【日時】2015年11月7日(土)10:00～17:10(9:30受付開始)  
【会場】北海道大学フード&メディカルイノベーション国際拠点  
詳細はきたネットのHPでご確認ください。

